

第2次安平町総合計画策定に向けたワークショップ 2回目に向けた事前資料 <当日ご持参ください>

第1回目の会議に参加された皆様 大変お疲れさまでした。

1回目の会議では、「10年後にどんなまちになってほしいか」「どんなまちにしたいか」というご意見をたくさんいただきました。

どのご意見を見ても、「この町に住んでいるからには、この安平町に良くなってもらいたい」、「この町を良くしたい」という思いが込められています。（6ページ以降をご覧ください）

これら多くのご意見について振り返るため、次のページ以降でまとめてみました。

字が小さくて読みづらいと思いますが、自分たちのグループでどのような意見が出ていたのか、他のグループではどんなご意見がでていたのか、2回目に参加される前に、是非一読いただければと思います。

さて、前回のワークショップで使った模造紙を見ると「経済的に豊かでゆとりを持って暮らせるまち」「たのしいまち」「安心できるまち」「居心地の良さが感じるまち」という究極の目標が目に入ってきます。

これは町民の皆さまだけでなく、役場の職員も常に追い求めている究極の将来像・・・。

いいえ・・・我々安平町民だけではなく、日本に住むすべての人が、自分の住む自治体にこのようになってもらいたいと感じているはずです。

日本全体が萎んでいくという時代の潮流の中、この究極の目標を実現していくためには、他の自治体には無い「安平町らしいまちづくり」が必要となります。

2回目の「町民まちづくり会議」では、「安平町らしいまちづくり」に必要な「安平町らしさ」を話し合います。

お問い合わせ先 安平町役場（早来庁舎）
電話：0145-22-2751

企画財政課企画グループ（担当：岡、木村、笹山）
e-mail：kikaku@town.abira.lg.jp

- 自己紹介を兼ねて、安平町に住んでみて（活動してみても）の感想をそれぞれメンバーが発言
- 10年後の安平町の目指すべきまちの姿をメンバーで検討



ご意見で出された「目指すべきまちの姿」を分析すると3つに分類できます

①究極の目標(主なもの)

- ◇安全安心なまち ◇生活しやすいまち ◇たのしいまち ◇活気のあるまち ◇ここによかったと思えるまち
- ◇生きることを楽しめるまち ◇(安)心が(平)穏やかになるまち ◇経済的に豊かでゆとりを持って暮らせるまち

②より具体的な目標(主なもの)

[若者・子育て・教育]

- ◇若い家族・世帯がたくさんいるまち ◇若者が住みやすいまち ◇若者が賑わう・活躍するまち
- ◇子ども・若者の多いまち ◇安平町に子どもたちが住み続けられるまち ◇しっかりとした人間力の育つまち
- ◇子どもたちが夢を持てるまち ◇子どもたちの長所が伸ばせるまち ◇皆で子育てするまち
- ◇安心して仕事と子育てを両立できるまち

[福祉・高齢者]

- ◇じいちゃん・ばあちゃんが元気で働いているまち ◇歳をとってもこのまちで死ぬるまち ◇老人に優しいまち
- ◇老人も楽しく生きられるまち(高齢者を活用する) ◇地域に居場所があるまち(高齢になっても社会貢献)
- ◇高齢者と子どもの交流があるまち

[地域コミュニティ]

- ◇暮らす人々が役割(コミュニティから頼られる実感)を感じられるまち
- ◇多くの人を訪れる活気あるまち ◇文化やスポーツでNO.1になれるまち ◇みんな仲良いまち

③目標を達成するための手段に属するもの(主なもの)

[生活一般]

◇通信（ネット環境）に困らないまち ◇買い物に困らないまち ◇公共交通機関の充実したまち ◇高齢者が安心して暮らせる医療・介護の充実したまち ◇多種・多様な働く場のあるまち ◇若い世代が働ける所があるまち

[循環型社会の構築]

◇循環するまち（E礼券、地域通貨、食材） ◇第一次産業の作り手の暮らし方、仕事が見せられるまち

[コミュニティ]

◇挨拶が出来るまち ◇町内イベントが盛り上がるまち ◇町民の手づくりが見えるまち

[観光交流]

◇通過されずに立ち寄られるまち ◇宿泊施設がたくさんあるまち

[子育て・教育]

◇スポーツ施設を活かした子育ての出来るまち ◇保育園から中高が一緒のまち（教育一貫性）



①と②の目的でまとめると

夢と希望を持った子どもたちの笑顔があふれ

元気な高齢者が社会に貢献しながら生きがいを持って生き活きと生活し

町内外の人々の交流によって活気をつくり

暮らす人々が役割を分担しながら、発展していくことによって

生きることを楽しめるまち ここに住んでよかったと思えるまち が実現する

こんな大きなくりのイメージとなります

夢と希望を持った子どもたちの笑顔があふれ
元気な高齢者が社会に貢献しながら生きがいを持って生き活きと生活し
町内外の人々の交流によって活気をつくり
暮らす人々が役割を分担しながら、発展していくことによって

「生きることを楽しめるまち」「ここに住んでよかったと思えるまち」

第1回ワークショップを踏まえて…

特に高齢者を支えるためには、若い人に住んでもらわなければならない。

「おじいちゃんおばあちゃん」が元気で働き続ける。
ずっと地域と一緒に（若者・子どもと高齢者が）仲良く暮らせることが望ましい。

若者・子どもがいて、高齢者が生き活きすることで地域が活性化することが前提にあって

「生きることを楽しめるまち」「ここに住んでよかったと思えるまち」

安平町の何を活用したら、これを実現できるのでしょうか？（安平町の「強み」「可能性」）

札幌・千歳・苫小牧とは異なる「強み」を一緒に探するのが2回目のワークショップです

（ご注意）若者・子どもに結びつけて考える必要はありません。

①住民生活WG

- ・ 地産地消ができるシステムを作らないと外に流れるばかり。町内に還元させなければならない。特区を利用した工場誘致の可能性はないか？
- ・ 文化スポーツ分野で、SLで盛り上がり、今日に至るまでの過去の歴史の振り返りは良いが、未来にどう活かすかストーリーが課題。
- ・ 地域コミュニティについては、新しく転入してきた住民にゴミ出しなどのルールが浸透していないという意見があり。どのように解決するかについて、行政に頼るだけでなく、町内会などで呼びかけるという話も出てきた。



②インフラWG

- ・ 公園あるだけではなくて皆が集える公園があるといい。
- ・ 永く住めるまち。ただ通りすぎるようなまちではなく長く住めるまち。
- ・ 巣立つ子どもたちがまた帰ってくるまちが良い。人口減少に歯止めがかかる。



③経済産業WG

- ・ 暮らす人々が役割を感じられるまち。周りの人たちから必要とされることが重要。生きがいややりがいを感じられることに繋がる。
- ・ 移住したいまちNO1。生活をする上でこのように選ばれるということは、環境が整っていると認められることである。
- ・ 働ける場所が多くなるまち。現在、苫小牧や千歳に働きに出る方が多いが、地元で働くことで人が増え賑やかになる。
- ・ 多くの人を訪れる活気あるまち。馬が非常に有名だがもっとPRすべきではないかという意見もあった。
- ・ 文化スポーツでNO1のまち。ゴルフ少年少女の育成について話された。国内外で優勝できる選手を育成したい。沖縄でやっているようなゴルフ場の空いている時間を利用できればいいのではないか。



④健康福祉WG

- ・ 住み続けられるまち。これには病院・福祉サービス・商店が必要。小さいまちにおいて商店がなくなるのは住み続けるのも厳しくなる。
- ・ 特に高齢者を支えるためには、若い人に住んでもらわなければならない。共働きをしないと暮らしていけない時代。0歳から預けられる場所が必要であり、シングルの方もいることから、病児保育というのも若い方が働きやすい環境として重要。
- ・ 企業がやってくるには人口1万人いないとやってこないという話から、目標として掲げてはという意見もあった。



⑤子育て教育WG

- ・ スターバックスが出来るくらいのまち。スタバを象徴と捉えて、働くだけじゃなくゆとりのある文化的なところにも目を向けられたらということが出された。
- ・ 子育て教育グループからは意外にも「おじいちゃん・おばあちゃん」というキーワードが多く出た。「おじいちゃんおばあちゃん」が元気で働き続ける。ずっと地域と一緒に仲良く暮らせることが望ましい。
- ・ 子どもに関することも出た。その中で子ども（幼児期や小中学校だけでなく）の放課後の充実が考えられた。そこで子ども達がいろんな夢を持ち、オリンピックに出ることもあるかもしれない。



⑥行政運営WG

- ・ 一番多かったのが、若い人たちがたくさんいるまち。子どもたちがたくさんいて賑わうまち。
- ・ 若い世代などを含め最終的に人口が減っていかないまちに行き着くのではないかという話になった。
- ・ これをクリアするには、福祉や買い物、交通アクセスなどの問題・不安を持っている高齢者がたくさんいるので安心して死ねるまちが目標ではないか。
- ・ この先に必要なのは町民の笑顔。
- ・ 町民の笑顔が外からまた新しい町民の笑顔を呼ぶというような10年後を考えていきたい。



WG	種別	10年後、安平町にどのようなまちになってほしい？	
		私の「目指す姿」	皆様のご意見など
① 住民生活WG	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自然環境が崩れず土地利用されるまち ◆ 安心できるまち ◆ 居心地の良さが感じるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光パネルばかりが増え、景観を悪くすることがないように土地利用がされるまち ・ 緑化が減っている。規制も必要 ・ 町内会の結束、自らの環境整備（除雪・除草・周りの協力） ・ 人と人との交わりを大切にしていけば
	産業観光	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 食と観光と福祉の充実したまち ◆ 旅人がくるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食料品等の店が少ない ・ 食・エネルギーの地産地消 ・ 交通が便利で素通りするのではないかな？ ・ 若者がSNSビジネスで町を豊かにする
	インフラ 住環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域公共交通手段・町外移動の手段が充実しているまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車を手放した高齢者が交通難民にならない工夫が必要
	福祉 介護	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 元気な年寄りのまち ◆ 若い人との交流が多いまち ◆ 健康長寿のまち ◆ 高齢者が安心して暮らせる医療・介護の充実したまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寝たきりにならないような運動事業や医療体制を構築すべき ・ 在宅介護の充実 ・ 若い人も医療は大事だが、高齢者にとっても医療機関の確保により、安心できる在宅での介護に繋がるのが望ましい
	子育て 教育	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子どもの笑顔が絶えないまち ◆ 小中高校生が常に団地内を歩く姿が見えるまち ◆ 他の町より1.5倍子どもが多いまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して子どもを産めるまちなど（貧困率） ・ 持続可能⇒若い人が生活でき、起業できる体制 ・ 多様性のある子どもを見極める
	文化 スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ たのしいまち ◆ SLを中心としたまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JRの活用。種類の違うSLを追加で配置してはどうか。（今後どのようにSLを中心とした将来的なストーリー展開をするかが重要という意見あり）
	地域 コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多様性（価値観・生き方の違い）を認めるまち ◆ 高齢者と若者が住み続けられるまち ◆ 行政と住民が相互に信頼しあえるまち ◆ ルールを守るまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民同士の助け合いがこれからも必要 ・ 住民自らまちをきれいにキャンペーンを実施 ・ 自治会町内会の加入率を上げる ・ 公共交通の強化で交通弱者をなくす ・ 若者が住み続けるということは、職場が必要であり、工場等の誘致に力を入れるべき ・ 社会常識や社会ルールを守れない住民が増加している。ルール強化が必要なのだろう
	行政運営	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 10年後も安平町（再合併しないまち） ◆ 合併してよかったと思えるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併10周年を検証するのが必要 ・ 合併してよかったと言われるようにしたい ・ 地域間の壁をなくす工夫が必要

WG	種別	10年後、安平町にどのようなまちになってほしい？	
		私の「目指す姿」	皆様のご意見など
② イン フラ WG	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地の利を活かせるまち ◆ 多種・多様な働く場のあるまち ◆ 老後安心して生活できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICがあり札幌圏への通勤に利便性があることをPRし、併せて空き家対策を講じれば人口増加に寄与するのではない ・農業・産業のみではなく、IT関係の企業を集約できれば若い世代の取込みにも繋がる ・高齢者においては、町内公共交通に対し不便であると感じている。代わりとなる交通手段の検討が必要
	産業観光	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 通過されずに立ち寄られるまち ◆ 宿泊施設がたくさんあるまち ◆ 競馬ファンが集まるまち ◆ みんな仲良いまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿公園から安平山へ回遊できるルートがあると良い ・イベントなどが開催された際、宿泊施設がないことから町への恩恵を感じないことから出されたもの ・仲の良いまちにしたい。また、地域の意識が強い部分もある。早来地区・追分地区という隔たりを感じるため、一体感醸成のために交流の場などがあればよい
	インフラ 住環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 安全安心なまち ◆ 自然の美しいまち ◆ 活気のあるまち ◆ 子どもたちが安心して暮らせるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが集まりやすい公園はどのようなものか判断する⇒子ども中心に考える ・整備された公園があると良い。皆が集まれる場所が必要（大島山林などせつかくりながら、整備が行き届いていないのは残念）
	福祉 介護	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 老人に優しいまち 	
	子育て 教育	<ul style="list-style-type: none"> ◆ スポーツ施設を活かした子育ての出来るまち ◆ 子ども・若者の多いまち ◆ 皆で子育てするまち ◆ サケの古里のまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交通弱者対策に加え、子どもの部活動などの交通対策も必要 ・IT産業など、若者のニーズに合った企業の誘致 ・サケの古里⇒巣立つ子どもたちが安平町へ帰ってくることをイメージ化したもの（帰りたいと思えるまち）
	文化 スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ゴルフ好きが集まるまち ◆ スポーツが盛んなまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・既に地域にあるものを活用していくべき ・町内にゴルフ場はたくさんあるものの、沖縄県のように子ども達の練習の場がないことや金銭面・指導面でのサポートがないことから、活かせる魅力である。
	地域 コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 挨拶が出来るまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも大人も挨拶が良い。 ・安平町は住みやすい。
	行政運営	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ふるさと納税がたくさんあるまち 	

WG	種別	10年後、安平町にどのようなまちになってほしい？	
		私の「目指す姿」	皆様のご意見など
③ 経済産業WG	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 暮らす人々が役割（コミュニティから頼られる実感）を感じられるまち ◆ 移住したいまちNO.1 ◆ 車が無くても病院・買い物に簡単に行けるまち ◆ 時間が緩やかに過ぎるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の暮らしの中で、周りの人々に必要とされる関係性がほしい。具体的には自治会や各種コミュニティにおいて、役割を持ち頼られることが生きがいに繋がる ⇒自分の得意分野の共有。仲間づくりの見える化 ⇒必要とされることが生きがいに ・ 安平町への移住者はいるが、まちとの繋がりがわからない方がいる ・ 田舎らしさ落ち着く町並みを大切にすること ⇒それが人柄や住環境に影響する
	産業観光	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 働く場所が多いまち ◆ 多くの人を訪れる活気あるまち ◆ 自然と食が豊かなまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働く場所がないから人が増えない（雇用はあるがニーズとのミスマッチが生じている） ・ 馬で有名なので、もっとうま町をPRできればいい ・ 安平町は誰が見ても第一次産業のまち。地産地消、自給自足が可能なまちを目指すべき
	インフラ 住環境		
	福祉 介護	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 墓守りが続くまち 	
	子育て 教育	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子どもたちがあふれるまち ◆ 子育てがしやすいまち ◆ 安平町に子どもたちが住み続けられるまち ◆ 第一次産業の作り手の暮らし方、仕事が見せられるまち ◆ 学校給食で地元食材100%のまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上土幌町のようにふるさと納税の用途を明確化するなど、政策を集中させることでアピールにもつながる。 ・ 農家の知恵や技術は、一種のまちの魅力・強みである。それを見れる感じれる環境があればよい ・ 現実的には給食の全てを地産で賄うことは難しいが、その割合を増やす努力、食育の観点から子どもに食と農業のつながりを実感させることはこの町では極めて重要。
	文化 スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文化やスポーツでNO.1になれるまち ◆ スポーツをやっている子どもの送迎があるまち ◆ 部活動でオール安平になれるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルフ少年少女の育成⇒指導必要 ・ 追分高校にゴルフ部を！ ・ 子ども達の育成のためにゴルフを無料にする。 ・ 競技人口の少ないスポーツ、ゴルフなど個人競技の施設環境も充実。これを活用し、競技者に金銭面・指導面で充実させるべき
	地域 コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 海外の人が訪れるまち、住んでもらえるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内企業においても、海外からの労働者が数多くおり、そのような海外の方の受入体制が必要
行政運営			

WG	種別	10年後、安平町にどのようなまちになってほしい？	
		私の「目指す姿」	皆様のご意見など
④ 健康福祉WG	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 近くで買い物ができるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤してしまう。都市に近いから住まない。都市（千歳・苫小牧）と比べると利便性に欠ける ・将来的に車を手放したときに近場で買い物ができる環境の整備は必要
	産業観光	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 若い世代が働ける所があるまち ◆ 目的を持って来訪できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの知名度が低い ・交流人口はあるが、通過地点として捉えられている。滞在できる目的を見出す必要がある
	インフラ 住環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 生活がしやすいまち ◆ 宿泊できる施設があるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会は、共働きで（働き口が）ないと暮らせない（経済的な裕福さを求める社会。人口を維持して良くするためには仕事と暮らしやすさがセットである必要がある） ・日用品が購入可能な中型商店は必須 ・閉店が早く、急な来客時に困る
	福祉 介護	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 老人の住みやすいまち ◆ 歳をとってもイキイキ暮らせるまち ◆ 歳をとってもこのまちで死ねるまち ◆ 身近に医療機関のあるまち ◆ 自己完結できるまち ◆ 健康管理に安心できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・安平町で最期を迎える（自己完結）できる ・老後も安心して楽しく暮らすための施設・環境の整備が必要 ・子ども親戚に迷惑をかけない終末＝自己完結
	子育て 教育	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 若者が住みやすいまち ◆ 安心して仕事と子育てを両立できるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育の対応（受給関係が課題） ・子育てボランティア⇒施設 ・働くための体制整備が必要 ・0歳から子どもを預かってもらえる所 ・要支援児への保育
	文化 スポーツ		
	地域 コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 老人も楽しく生きられるまち（高齢者を活用する） ◆ 地域に居場所があるまち（高齢になっても社会貢献） 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の集まる場があれば高齢者との交流も可 ・集まれる場所（食を目的・作ることも） ・世代・年代を問わず集まれる場所があると良い ・親を呼び寄せても居場所がある ・地域に入り込める場所 ・引きこもり防止
	行政運営		

WG	種別	10年後、安平町にどのようなまちになってほしい？	
		私の「目指す姿」	皆様のご意見など
⑤ 子育て・ 教育WG	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 今くらい自然のあるまち（程よさ） ◆ 最低限今くらい住みよいまち ◆ 静かで都会的なまち ◆ マイカー不要のまち（地域内完結） 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が住むために環境を破壊しないでほしい ・一通り揃ってるまちで生きている ・静かで都会的＝垢抜けている（おしゃれ）
	産業観光	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 若者が活躍できるまち ◆ スタバができるくらいのまち ◆ ゆとりのあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・活躍の場＝働く場所 ・同級生が都市へ流出。働く場所・産業があればいい ・スタバ、企業が入ってきているまち（⇒スタバに選ばれる＝便利でおしゃれなまちの象徴） ・アルテピアッツァ美唄のような文化的なおしゃれな施設 ・経済的に豊かでゆとり（時間的ゆとり）を持って暮らせるまち
	インフラ 住環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 循環するまち（1次産、地域通過、食材） ◆ 森や川など子どもが安全に自然と親しめるまち ◆ 買い物に困らないまち ◆ 経済的に豊かでゆとりを持って暮らせるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・本格的な森や川ではなく、整備された公園を想定（川に入れる。アスレチックが森の中にあるような） ・滝野すずらん公園のミニチュア版がほしい ⇒子どもの遊び場 ・地区の拠点商店がなくなっている ・地元で買い物しましょう。町民意識
	福祉 介護	<ul style="list-style-type: none"> ◆ じいちゃん・ばあちゃんが元気で働いているまち ◆ 生きることを楽しめるまち（AIに勝てる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・20年後今の仕事なくなる。ロボットに仕事を取られていいの？生きがいのあるまち。楽しめるまち ・元気で働く⇒健康に繋がる
	子育て 教育	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 外で元気に子どもたちが遊んでいるまち ◆ 保育園から中高が一緒のまち（教育一貫性） ◆ 教育と子育てで選ばれるまち ◆ 子どもの放課後の活動が充実しているまち ◆ 子どもがあふれるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は道路で、外で遊んでいた ・子どもの姿が見えるまち ・保育園と中学校が連携し、生徒が園児の面倒をみるなどの一体となった取り組みにより、育ちの連続性を生む ・三世代がうまくいくと皆が生きる ・子育ては力を入れて人口が増えている事例がない ⇒学力・体力に強みのある小中学校・園があると人が流れてくる ・学校帰りに歩いていける場所があればいい （習い事や少年団など）
	文化 スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子どもたちが夢を持てるまち ◆ オリンピック選手をたくさん出すまち ◆ 子どもたちの長所が伸ばせるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・全道・全国区のスポーツは多いことから、オリンピックを目指す選手のサポートなど ・いいものを見る。聞ける。感じれる。 ⇒一流の人が体感できる。目標ができる。本物を見せて夢が持てる ・競技の選択肢が広がる環境があると子ども達が伸びる。一芸に秀でてる人として育てば。。
	地域 コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 高齢者と子どもの交流があるまち ◆ 町内イベントが盛り上がるまち ◆ 助け合えるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学時に声をかける ・うまかまつり以外にも盛り上がるイベント・祭り ⇒縮小している
	行政運営	<ul style="list-style-type: none"> ◆ （安）心が（平）穏やかになるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・これは外せない。

WG	種別	10年後、安平町にどのようなまちになってほしい？	
		私の「目指す姿」	皆様のご意見など
⑥ 行政運営WG	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 若い家族・世帯がたくさんいるまち ◆ 若者達の賑わうまち ◆ ほっとできる景色が残っているまち ◆ ここでよかったと思えるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が集まる。子どもが増える ⇒高齢者との繋がりが出来る ・町の将来を担う若年層が、町内に残ってもらうことが、及び学生や就職で転出して結果的に戻ってきてもらうことが重要 ・今いる若者を逃がさない ⇒子どもの遊び場の確保（子育て世代） ⇒人がいるから出来ることも増える ・都会から戻り、自然や町並み等落ち着いた環境がある
	産業観光	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 商店街の復活したまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいがある（賑やかだったころの）商店街になればという期待がある
	インフラ 住環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 通信に困らないまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット環境が未だ整備されていない地域もある（富岡地区）
	福祉 介護	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 安心して死ねるまち ◆ 公共交通機関の充実したまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・安平町内で最期まで穏やかに過ごせるまち ・交通網整備が必要（車が使えない人のため） ・交通網が今は課題 ⇒既に流出している ・アクセスが便利で他で仕事ができる町内交通網の充実
	子育て 教育	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 子どもが安心して遊べるまち ◆ しっかりとした人間力の育つまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は、子どもが安心して遊べるところがあるなどを条件としてまちを選択しているのではないか ・子どもが望む学校環境・公園を整備する ⇒外にPRすれば人が増える
	文化 スポーツ		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設はあるが、人口減少によりスポーツ少年団が活動できない ・少年団合併できない⇒移動手段がない
	地域 コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 町民の手づくりが見えるまち 	
	行政運営	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人口が減っていないまち ◆ 持続的行政運営ができるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・借金がないまち ⇒安心できるまちづくりが出来ない ⇒無駄な事業（箱物）はいらない ⇒新しいものを作る必要性はない